

令和6年 第1回 定例会号

\ より読みやすい冊子にリニューアルしました! /

# おおた区議会だより

*Ota City Assembly News*



大田区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

No.260 令和6年  
5月5日



<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>





# 代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。

本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



## こども関連予算UPを評価 全世代の希望と安心を作る



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
湯本 良太郎



### 新・大田区基本構想について

**Q** 区長が新たな基本構想に込めた思いについて伺う。

**A** 「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を掲げ、基本目標の一丁目一番地としてこどもを位置付けた。こどもや、子育て世帯に選ばれる自治体を目指し、環境と産業を一つの柱に掲げ、持続的に発展するまちを目指す。

### 6年度予算案にかけた区長の思いについて

**Q** 区長が初めて編成した6年度予算案にかけた思いを伺う。

**A** 出産・子育て、教育の充実に向けた施策は、こども関連予算を前年度比12.4%増の1,261億円余と大幅に増額し、予算総額の約3割を占めている。首都直下地震をはじめ、災害に備える強じんなまちづくりや、共生社会に向けた施策を進めていく。一般会計予算案は3,412億円余、前年度比8.4%増と過去最大の規模とし、積極的な施策展開を図り、「笑顔とあたたかさあふれる大田区政」を実現する。

**Q** 災害によるリスクを一定の範囲で抑えることができるま

と、新たな危機管理体制の構築とはどのような取組か伺う。

**A** 能登半島地震でも被害が報告されている、耐震性に懸念のある新耐震基準木造住宅の耐震化助成事業、低地部の浸水被害を低減する高台まちづくりなどに取り組んでいく。また、新たな危機管理体制の構築として、大田区地域防災計画とBCPの抜本的な見直しを図る。



6年1月に実施した募金活動の様子

### 介護保険制度の運営について

**Q** 介護人材の確保も含めた今後の運営について、区長の考えを伺う。

**A** 介護保険料の設定においては、介護給付費準備基金の活用による抑制などを検討した。奨学金制度の拡充や介護助手導入支援事業を実施する。また、海外人材を含めた多様な人材の確保に向けた取組を検討していく。

### 区立保育園の役割について

**Q** 医療的ケア児の受入れ体制の整備など、保育園の今後の在り方について伺う。

**A** 医療的ケア児の受入れを新たに2施設で開始する。(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター

と専門的支援が必要なこどもに対し、包括的な支援を進めていく。

### 子育て支援について

**Q** 児童相談所整備に関する区長の思いと、都とどのような相談支援体制を構築するのか、伺う。

**A** 経験を有する都の児童相談所と地域支援に強みを持つ区の子ども家庭支援センターを融合させ、一体的な運用体制のもと、地域支援を充実させることが現段階では最適な方策と判断した。

### 大森～臨海部へ連なる平和島駅周辺のまちづくりについて

**Q** グランドデザイン策定後の平和島周辺のまちづくりについて伺う。

**A** 京急電鉄及び京急開発と包括連携協定を締結し、協議を進めている。臨海部に連なる重要なアクセス拠点である一方、歩行者環境の改善やバス・タクシーの乗降場における利便性の向上など、様々な課題がある。災害への対応をはじめ、2040年代を見据え、新たな時代に対応したまちづくりを推進していく。

### カーボンニュートラル<sup>\*</sup>について

**Q** 環境政策は区民の行動変容につながるということが重要であるが、区の所見を伺う。

**A** 区民・事業者・団体などの行動変容により、環境課題の解決に取り組むことを目的に進める。

## 教育施策について

**Q** こどもたちが通いたくなる学校をつくり、子育て世代に選ばれる教育を実現するための新たなビジョンについて、教育長の思いを伺う。

**A** 区独自教科や、国際教育などの教育活動を充実させ、人材を育成していく。また、授業力を向上させるとともに、困難や悩みを抱える児童・生徒にきめ細かく対応し、支援していく。

**Q** 私立幼稚園の専門的なノウハウをこれまで以上に生かしていく仕組みづくりについて、教育長の見解を伺う。

**A** 私立幼稚園を貴重な教育資源と位置付け、未就学段階からより豊かな人間性を育むことができる教育環境を整備し、子育て世代にとって魅力ある大田区を実現していく。

### 用語解説

#### ※カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすること。「排出量を全体としてゼロ」というのは温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味している。



## こども・若者の声を生かしスピード感ある区政運営を

大田区議会公明党  
岡元 由美



## 6年度予算案と検討・執行のスピードについて

**Q** 税金を原資とする行政が用途に慎重になることは大事だが、プランに時間をかけ過ぎると、執行時に時代遅れになる場合がある。また検討期間に削減できたはずの経費を見過ごすことは財政的にも大きな

課題。検討には終期を決める必要がある。民間企業が導入するOODAやDCAP、PDRなどの手法の検討を含め、スピードの視点から事業の進め方について区長の見解を伺う。

**A** 区民目線に立ったサービスの徹底、地域課題の解決や魅力向上など、スピード感を持って進めていく。社会状況をつぶさに把握しつつ、時機を逸することなく真に求められる施策を講じていくため、検討から実行まで迅速に進め、様々な課題に対応していく。私自身が先頭に立ち、笑顔とあたたかさあふれる大田区政を実現していく。



## (仮称) 大田区子ども家庭総合支援センターについて

**Q** 職員のメンタル面や対応する案件の複雑さ、深刻さなどから、区単独での人員確保に不安があることを指摘してきた。都立児童相談所への方針転換は、これまで確保した児童福祉司や児童心理司などの人材を児童虐待防止・対応に生かせるチャンスと言える。福祉関連の人材活用と、こども家庭センターの今後の展開について伺う。

**A** 母子保健・児童福祉の機能を一体的な組織として整備する。一元的な指揮命令のもと、包括的な相談支援を提供する、こども家庭センターを6年10月に各地域庁舎に設置する。研修などで研さんを積んだ職員の配置を含め、彼らの英知が最大限に発揮できるよう取り組む。また、児童虐待の未然防止を更に強化する体制構築を進め、こどもと家庭を包括的・継続的に支える地域づくりを積極的に進めていく。

## こども・若者の声を反映したこども政策について

**Q** 区には様々な審議会、協議会があるが、こども・若者に関する会議体では、当事者を委員に選出し、意見を聴取できる環境を要望する。こども計画策定に当たり、当事者などの意見をどのように聴取し、反映していくのか伺う。

**A** アンケートの対象に小学4年生以上を加えて、こども本人や子育て当事者からの意見聴取を拡充し、次期計画への反映を図っていく。また、過程や結果を一般向けと、こども向けにホームページなどでより広く区民に発信・周知していく。

## 学びの多様化学校について

**Q** 特性を配慮すれば、みらい学園規模の学校を複数設置するか、在籍校に同様の環境を整備する方が有効ではないか、見解を伺う。

**A** 教室や学校では空間的・人的な制限がある。8人程度の児童・生徒に対して1人以上の指導者を配置し、体験期間を含めて200人ほどの受入れを想定している。

## 地域共生社会と要支援者の避難について

**Q** 地域共生社会を実現するための取組について見解を伺う。

**A** 精神疾患のある方の、支援の在り方を検討した結果、2つの部局に分かれていた精神に関わる個別相談の窓口と申請の窓口を一本化することとした。

**Q** 災害時要支援者の二次避難について区の見解を伺う。

**A** 災害関連死を防ぐとともに、落ち着いた生活環境を確保するために二次避難を進めたい。災害時相互協力協定を締結している7市町、都の統制に基づく近隣県、対口支援による公営住宅など、様々な避難形態がある。また、避難先での生活支援、り災証明書の交付、被災者



生活再建支援金の支給など、避難先自治体と連携した被災者支援、就業援助や仮設住宅、公営住宅などへの入居のほか、二次避難の終了を見据えた継続的かつ密接な調整が極めて重要である。能登半島地震の実例を参考に、二次避難の検討を重ね、都と連携して準備を進めていく。

### 物価高騰に苦しむ事業者支援

**Q** コロナ禍とは異なる課題を抱える事業者に対して区独自の支援策が必要。区長の考えを伺う。

**A** 売上げが増加しても仕入れ価格などの上昇により利益が上がらない、又は利益が減少する状況も少なくない。そこで利益の減少を要件とした融資制度を新たに設ける。また、SDGsの推進に向けた設備投資への助成制度を新設する。

### 防災対策強化と物価高騰などから区民の暮らしを守る区政を



日本共産党大田区議団  
佐藤 伸



### 航空機事故から、区民の命と財産を守る安全対策の強化について

**Q** 世界でも有数の過密状態にある羽田空港の安全な運用について、今後の区の対応を伺う。

**A** 区は6年1月に国土交通大臣宛てに、徹底した原因究明と再発防止の要請を行っている。

### 能登半島地震を教訓とした防災対策の強化、物価高騰から区民の暮らしと営業を守る新年度予算について

**Q** 米寿を迎える区民への施策である寿祝金、国民健康保険加入者に配付していた夏季区営プール利用引換券の廃止撤回及び暮らしを

### 支援する物価高騰対策を拡充すべき。

**A** 総合的に勘案し、廃止した。その分をより必要性の高い事業へ資源を投下し、新陳代謝を図る。

**Q** 区自らが債務保証する融資制度の拡充や直接助成制度をつくり、あらゆる事業者を支援する枠組みを設定するよう求める。

**A** 区が債務保証をする融資制度を実施する予定はない。

**Q** 第6次補正予算では基金だけで約52億円余になり、物価高騰対策の財源があつたにもかかわらず、積立て、基金に回している。補正予算を緊急に組んで、物価高騰対策に対応すべき。

**A** 区長として必要な施策の積極的な展開と、将来にわたる持続可能な財政運営を両立していく。

**Q** 新年度の保育士応援手当の縮小・削減を中止し、小・中学校の給食費無償化の恒久化、学用品完全無償化などを実施し、子育て世帯の負担軽減施策を更に進めるべき。

**A** 目的を量の確保から質の向上に資する保育士の定着支援に重点を移す。学校給食費無償化は国の責任で実施すべきもの。

**Q** 新空港線事業について、区民の理解を得るため様々な媒体を活用し、PRしたにもかかわらず、理解が得られず、見直しや白紙撤回を求める意見が広がっているのでは。

**A** 基本構想の策定に向けた区民アンケートでは、事業見直しの声もあつたが、小・中学生を中心に早期実現を望む声も多くある。

**Q** 感震ブレーカー※の木密地域への無償配付は300世帯と少なすぎる。普及率を調査し、大幅増を求める。また、新耐震基準の木造住宅耐震診断費用の一部助成の大幅拡充と耐震補強工事への助成も求める。

**A** 感震ブレーカーは、新年度では約2倍の予算額を計上した。耐震化・防火対策は所有者の理解が不可欠であり、普及・啓発を進める。

### 用語解説

#### ※感震ブレーカー

地震発生時に設定値以上の揺れを感知した場合、ブレーカーの電気を自動的に止める器具のこと。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、通電火災を防止する有効な手段になる。



### 交通不便地域などの改善・解消を

**Q** 現在行っているデマンド型交通実証実験の評価と見通しは。

**A** 課題について十分に検証し、交通利便性の向上に努める。

**Q** 当面はデマンドバス車両を区が購入し、支援するなど、財政支援を積極的に行うことを求める。

**A** 現在、実験を行っている状況で、移動しやすい交通環境の創造に努めていく。

### 「第9期介護保険事業」について

**Q** 国に対して財政支援の強化と、更なる改悪をしないよう、区として意見をあげるべき。

**A** 特別区長会は、財政負担などを含めた介護保険制度の充実について、国に意見をあげている。

**Q** 介護保険料の値上げをしないよう介護給付費準備基金の全



額活用や、保険料の最高額の上限所得を他区並みに引き上げ、高所得者段階で多段階化し、応能負担を進め、低所得者の負担を軽減すべき。

**A** 介護サービス量の増加や国の介護報酬改定などに対応するため、保険料の基準額を引き上げる。

### 皆様が納めた税金を適正に生かす区政に！



日本維新の会  
大田区議団  
鈴木 ひろこ



### ふるさと納税について

**Q** ふるさと納税制度に対する考え方や返礼品拡充について。

**A** 現制度は、寄附金を通じて税収を他自治体に移転させるものであり、受益と負担という税制本来の趣旨を逸脱し、地方自治の根幹を破壊するものである。また、利用者のみが恩恵を受けるなどの不公平が生じている。更に、ふるさと納税による住民税控除額に自治体が負担する返礼品などの募集費用を加えると、寄附額を上回っており、制度のゆがみが顕在化している。特別区長会を通じ、制度の廃止を含めた抜本的な見直しを国に強く要望していく。ふるさと納税による6年度の特別区民税の流出額は、約58億円を見込み、看過できないため、制度活用を検討している。返礼品競争には慎重であるが、魅力ある取組や資源などのPRツールとして活用し、応援・共感による寄附を募る観点から取り組む。

### 新空港線について

**Q** 新空港線の整備効果や、環境面や防災面での効果について。

**A** 整備効果は二つの蒲田駅間がつながることで、東西方向の移動の利便性向上に加え、各方面へ

の鉄道路線が結ばれることで、沿線全体の利便性向上が挙げられる。新空港線は災害時の代替ルートとしての機能を有し、東京圏の鉄道ネットワーク強化としても期待される。様々な効果を早期に発現させるため、第一期整備の早期実現を目指し、整備主体の羽田エアポートライン株式会社と連携して取組を進めていく。



上空から見た羽田空港周辺

### 大田区は鉄道と共に発展してきた



つばさ大田区議団  
須藤 英児



### シティプロモーションについて

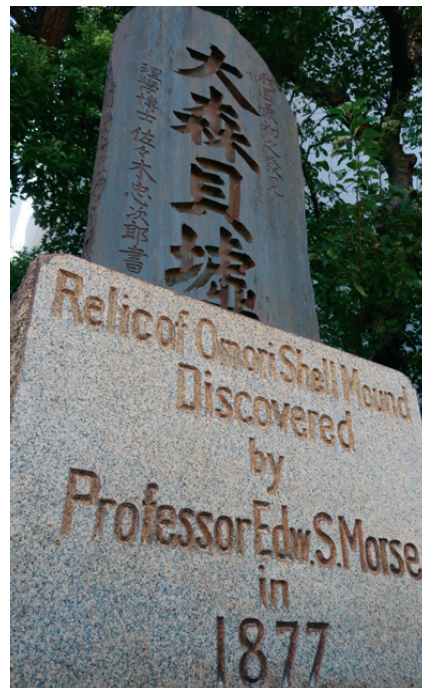
**Q** 区内には42も駅があり、駅を中心として発展してきた大田区のまちづくりを魅力と捉え、シティプロモーションにつなげるべき。

**A** 日本に鉄道が開通した4年後に大森駅は開設され、エドワード・シルベスター・モースにより、大森駅付近で大森貝塚が発見された。鉄道沿線のまちづくりをシティプロモーションと捉え、取り組む。

### 大森駅西口都市計画について

**Q** 大森駅西口都市計画の成功のため、大森貝塚など共通の歴史的資源を持つ品川区の協力が不可欠。安全で文化を感じ、にぎわいのあるまちにするためのまちづくりを進めるべきと考えるが、いかがか。

**A** 大森駅周辺の貝塚の碑をはじめ、歴史的な資源を後世に継承し大森地域の特性を生かし、魅力のあるまちづくりに取り組んでいく。



大森貝塚の発掘記念碑

### 富士山噴火などの災害対策

**Q** 富士山噴火対策など、地震・風水害以外の災害対策を強化すべきと考えるが、いかがか。

**A** 富士山噴火、大規模事故などあらゆる災害に備える必要があるが、いかなる災害も応急対策の基本は同じで、災害の特性や規模に応じて、対策の重点を変化させる。

### 令和島など区内の人工島について

**Q** 令和島をはじめとする人工島6島の今後の展望を伺う。

**A** 令和島は次世代の港湾物流機能の導入として、再生可能エネルギーを活用した先端テクノロジーの実装の場とすることが重点プロジェクトである。空港臨海部の強みである島々の地域特性を相互に発揮しながらまちづくりを進める。



### 今後の大田区をどのように考えるか鈴木区長の認識を聞く



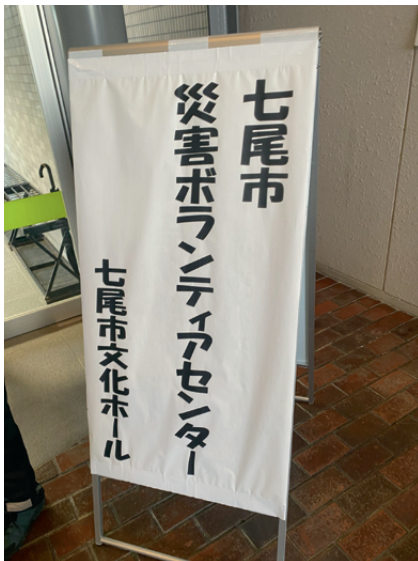
東京政策フォーラム  
(都民ファースト・  
国民民主・無所属の会)  
おぎの 稔



### 災害対策について

**Q** 能登半島地震の被災地である七尾市では、市と青年会議所が協働してボランティアの受入れなどを行っていた。区の災害時における災害ボランティアの受入れ体制は、どのようになっているのか伺う。

**A** 被災地の復旧・復興には、災害ボランティアの支援は欠かせない。引き続き、関係機関と連携・協力し、被災時に備えた訓練などを通じ、災害ボランティアセンター機能の強化に取り組んでいく。



七尾市災害ボランティアセンターにて

### 事務事業評価について

**Q** 区が進めていく様々な施策や事業の評価についてどのように考えているのか。

**A** 予算案の編成と併せ、個別事業の検証結果と具体的な改善策を公表することは、必要性などを区民に知ってもらう観点からも、意義があるものと認識している。

### 福祉について

**Q** 区は今後いかにして障害者福祉施設整備などの計画を進めていくのか。

**A** 施設整備に当たっては物価や人件費の高騰など社会情勢を背景とした課題もあるが、障がいのある方が、住み慣れた地域で希望する暮らしを継続していくための施策を着実に進めていく。

### 国際都市について

**Q** 区はどのように生活者としての外国人の課題に向き合っていくのか。

**A** 来日する外国人は増加している。国際都市おたとして外国人区民を、ともに暮らす生活者、地域社会の構成員として捉え、共生社会の実現を目指していく。

### 大田区議会ガイドブックのご案内

若い世代の方にも区議会の活動を知ってもらうため、イラストを用いて分かりやすく紹介する「大田区議会ガイドブック」を発行しています。

ホームページからもご覧いただけます。



### ホームページのご案内

議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご活用ください。



簡単アクセス!

詳細は /

大田区議会



### 聴覚などに障がいのある方へ

本会議及び委員会では、手話通訳者やFM補聴が利用できます。

#### ●手話通訳を希望される方

傍聴希望日の7日前までに問合せ先へお申し出ください。

#### ●FM補聴の利用を希望される方

傍聴の際にお申し出ください。

簡単アクセス!

問合せ先

議会事務局

FAX 5744-1541

電話 5744-1474





# 一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。

本会議などの様子を、動画共有サイトYouTubeで配信しています。



## コロナ後の福祉施策を 着実に前へ！！

大田区議会公明党  
小峰 よしえ



## 地域共生社会を支える 元気高齢者の支援について

**Q** 区は、元気高齢者を対象に介護助手導入支援事業「介護サポおおた」を開設するとしている。事業継続のために高齢者の活躍を推進する仕組みづくりや、安心して相談し、人生の棚卸し的取組ができるワンストップの相談窓口の開設、更には都のプラチナ・キャリアセンターとの連動などを望むが、いかがか。

**A** 介護現場の負担軽減と高齢者の生きがいづくりに取り組んでいく。高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを設置しており、相談者の話を傾聴した上で適切に対応し、その経験や能力を遺憾なく発揮してもらえるよう支援を継続していく。

## 業務移管による保健師の 活躍について

**Q** 精神疾患に関する相談支援において、保健と福祉の連携が深まり、保健師本来の専門性と役割が発揮される組織的な整備を望むが、いかがか。

**A** 各分野の専門性を生かして支援することは、今後ますます重要となる。6年度、精神障がい

に係る相談と申請の窓口を一本化するため、組織改正し、医療的支援と福祉サービスを地域福祉課で一体的に提供できる体制づくりを進める。チーム支援においては、保健師と福祉職が情報共有を図りやすい環境を整え、専門性を生かしながら組織で対応することが重要である。更に、組織として職員をフォローできるように、所管の担当係長に保健師を配置する。チーム支援力を高めることで医療と福祉の専門職が相互に強みを発揮し、組織としてより効果的な相談支援へとつなげていく。

## 誰一人取り残さない、一人ひとりに 寄り添う被災者支援を

大田区議会公明党  
田島 和雄



## 防災・減災について

**Q** 3年第3回定例会で提案した災害ケースマネジメントの検討状況などについて伺う。

**A** 第二東京弁護士会と定期的に研修会を開催し、被災者支援の強化に取り組んでいる。各部署も相談窓口業務の理解を深めており、今後は専門的知見を有する民間団体も交えて具体化する。大田区地域防災計画への明記については検討する。

**Q** 4年第1回定例会で提案した災害用トイレの確保運用管理計画の検討状況について伺う。

**A** 事業所や家庭に対し、災害用トイレの備蓄について一層、普及・啓発に努めるとともに、区でも簡易トイレや携帯トイレの備蓄を促進し、災害時に確実に避難所へ届けられるよう計画に反映する。

**Q** 羽田地区の事前復興まちづくり訓練の取りまとめと今後の展開について、区の見解を伺う。

**A** ワークショップでの議論をもとに計画案を作成し、更に地域から意見をもらい、計画として取りまとめる。訓練の結果を検証し、必要性和対象地域を検討していく。

## 高齢者支援について

**Q** 会派として要望・提案してきた老いじたく情報登録制度の施策の方向性について伺う。

**A** 老いじたくの情報を登録し、意思表示ができなくなった時に、必要な機関に情報提供する事業を6年度から創設したい。

**Q** 高齢者の聞こえの支援について6年度予算でどのような方策を打ち出したのか、伺う。

**A** 高齢者補聴器購入費助成事業について、2点の見直しを行った。1点目は、助成対象者の年齢を70歳から65歳に引き下げる。2点目は、助成金額の上限を見直す。



**災害に負けない、強じんなまち  
大田区をつくる**



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
鈴木 隆之



**区の災害対策について**

**Q** 区の参集体制の考え方と近年の運用実績、災害対応業務に従事する職員のメンタルヘルス不調の発生予防や適切な対応のための体制を伺う。

**A** 非常配備態勢発令基準を4段階に分け、災害対策本部の設置前でも地震の規模に応じて自動参集する拠点配置職員をあらかじめ指定している。人的資源の効率的な投入や受援の規模を想定することで、従事職員の疲弊を予防するための環境を整備していく。

**奨学金について**

**Q** 6年度予算案に盛り込まれた福祉人材確保奨学金制度に込めた区の意味と施策の考え方を伺う。こうした施策の恩恵を受ける人材に災害時の福祉避難所で貢献してもらうことを期待するが、考えを伺う。

**A** 奨学金の返還を半額減免する人材確保型特別減免制度について更に2年間、計5年間勤務すれば、全額を減免するよう拡充する予定である。福祉関係従事者の返済負担をなくすことで、定着と定住を支援し、区に愛着を持つ若い世代に地域福祉の中核的人材として活躍してもらう。また、災害時には福祉避難所などでの担い手として従事してもらうことで、災害対策の強化にもつながると考えている。

**環境について**

**Q** 被災時におけるエネルギー供給ルートをどのように確保するのか。

**A** 6年度、新たに家庭用燃料電池の導入支援を行う予定である。このほかに、23区最大規模で超高効率燃料電池設備を区施設に先駆的に導入し、災害時のエネルギー確保と供給に向けた環境整備に取り組んでいく。

**Q** 区の地域特性を踏まえた防災分野へのDX活用の考え方を伺う。

**A** 区民が情報収集しやすいよう、多様な媒体を整備し、速報性の面から自動連携を強化している。引き続き、区の実情に応じた様々なデジタル技術を駆使した備えにより、区民の命を守る取組を推進していく。

**更に「やさしいまち」を目指して**



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
伊佐治 剛



**認知度と支援が不足している  
病気について**

**Q** 失語症者向け意思疎通支援者派遣制度を実施すべきと考えますが、いかがか。

**A** 失語症の特徴として、相手の言葉を正確に理解することや、伝えたいことを適切な言葉にすることが困難なため、コミュニケーションが難しいことなどがある。失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について、他自治体の事例などを参考に検討していく。

**Q** トウレット症候群<sup>\*</sup>(チック症)について、わかばの家などを活用した相談体制を構築すべきと考えますが、区の見解を伺う。

**A** わかばの家と障がい者総合サポートセンターB棟の連携を深め、相談体制の充実を図ることで、切れ目のない支援に努めていく。

**福祉支援の拡充について**

**Q** これまで認証保育所への緊急的な支援を求めてきたが、具体的な取組は。

**A** 6年1月から試行実施している、多様な他者との関わりの機会の創出事業は、こどもへの支援に加え、人的支援を有効に活用したい事業者にとって有益な側面もあるため、取組を促進していく。

**飼い主がない猫対策について**

**Q** 区としても「飼い主のいない猫去勢不妊事業普及員」制度を創設すべきと考えるが、いかがか。また、地域猫ボランティアに対して経済的な支援を行うべきと考えるが、いかがか。

**A** 都には、動物に関する地域の身近な相談員として、東京都動物愛護推進員制度がある。区民から飼い主のいない猫に関わる相談が寄せられた際には、推進員の協力を得ながら問題解決を図っている。独自の普及員制度については、今後の検討課題と捉えている。経済的な支援については、区では去勢・不妊手術後の猫の管理を含めた地域活動への発展を視野に入れている。そのため、支援内容について変更する予定はないが、今後の経済的支援の在り方については、国や都の動向を踏まえ、必要に応じて検討していく。

**用語解説**

**※トウレット症候群**

多種類の運動チック(突然に起こる素早い運動の繰り返し)と1つ以上の音声チック(運動チックと同様の特徴を持つ発声)が1年以上にわたり続く重症なチック障がいのこと。このような運動や発声を、本人はそうするつもりがないのにやってしまうのが特徴である。



## おおたの明るい未来を 創るために



自由民主党大田区議団・  
無所属の会  
北村 やよい



## 10代から20代に寄り添った 女性特有の疾患への 健康支援について

**Q** 社会にどのような損失や影響があるか。

**A** 女性特有の疾患にかかることは、生活の質の低下、労働や経済、人口など社会全体に影響がある。国試算で1年間の労働損失は国全体で4,911億円。早期に自分の体の特徴、症状への対処方法や治療の選択肢、疾患へ発展するリスクを理解しておくことは、非常に重要。

**Q** 小・中学生の生理が始まる世代に向けた女性の健康支援は。

**A** 区ホームページで思春期特有の症状や相談窓口を紹介した。6年度は小・中学生に配付したタブレットから閲覧できるよう取り組む。

## 大規模災害での災害ボランティアや防災士の活用及び在宅避難者への支援を含む物資の物流体制について

**Q** 区における各種ボランティアなどの受援体制及び災害対策本部との関係は。

**A** 大規模災害が発生した場合、人的資源の不足が想定される。災害ボランティアは、主に被災者の生活を回復するため活用を図る。応急危険度判定員や住家被害認定士などの専門ボランティアは、専門領域ごとに災対各部が窓口を設置する。

**Q** 区内に防災士は何名か。また、有意義な活用方法は。

**A** 区内で約900名。学校防災活動拠点の取組や訓練の開催を紹介し、地域とつなぐことで活躍の

場を広げる。防災士をはじめ、人という社会資源を積極的に活用する。

**Q** 災害時の物流体制の現状について。

**A** 平和島にある都の広域輸送基地に集積。区内3か所に輸送し、約230か所の各種避難所向けに仕分けて輸送する。在宅避難者を含めた区の避難者の想定は約31万3千人。物流量に基づき検証する。

**Q** 在宅避難者への物資支援の体制は。

**A** 大田区地域防災計画に基づき、学校防災活動拠点において実施する前提。各特別出張所などの補給点の増設には、物資量の見積りと仕分け業務追加や輸送力確保、管理職員配置など様々な課題がある。

## 環境と産業が両立する持続可能な大田区の実現を目指して



立憲民主党大田区議団  
庄嶋 孝広



**Q** 区内の介護事業者のニーズと町工場の技術の掛け算で生まれた車いすなど、町工場の匠の技を新たなニーズと掛け合わせていくことが重要だが、どのように行うか。

**A** 区内外のベンチャー、スタートアップと区内ものづくり企業などとの出会いや連携を創出する新たな展示会を開催したほか、既存の取組の活用も効果的と考える。

**Q** 大田区脱炭素戦略の2030年度カーボンハーフ※、2050年度カーボンニュートラルの目標達成のためには、区民が目にする場所で温室効果ガス削減の進捗を見える化するなど、区民が実感しながら取り組むことが重要だが、どのように行うか。

**A** イベントや講座など、区民が体験、実感できる取組を展開する中で、目標達成を目指していく。

## 用語解説

※2030年度カーボンハーフ

区の温室効果ガス排出量について、2030(令和12)年度までに2013(平成25)年度比で50%削減させること。「大田区脱炭素戦略」で定めている。

## 大田区から東京、日本、そして世界を元気に！



日本維新の会大田区議団  
三沢 清太郎



## 羽田空港のプリクリアランス※導入について

**Q** 羽田空港への米国入国審査場(プリクリアランス)導入はハブ空港としての機能強化に資する。同じ質問をした5年前から今日までの状況と今後の取組について伺う。

**A** 今後も様々な動向を注視する。

## ブルーカーボンプロジェクトについて

**Q** 区では大森ふるさとの浜辺公園にて、コアマモの移植実験を続けており、大田区発のブルーカーボンプロジェクトに取り組む素地がある。他自治体、企業、大学などと連携し、推進することを強く期待するが、区の見解を伺う。

**A** 国、都、近隣自治体、企業、地域住民との情報交換を行いながら、より多角的な視点で様々な環境課題に対し、検討を進めていく。

## 用語解説

※プリクリアランス

海外への渡航に当たり、出発国において到着国のCIQ(税関・入国管理・検疫)を済ませてしまう制度のこと。



潜在的な新型コロナワクチンの被害者を救済するために



つばさ大田区議団  
伊藤 つばさ



ワクチン被害の救済制度について

**Q** 新型コロナワクチンによる予防接種健康被害救済制度の申請件数は全国で1万件以上。審査が追いついておらず、認定されるまでに1年半程度を要している。体調不良の原因がワクチンだと気づいていない方や制度を知らない方も少なくない。本制度について、より広い周知が必要ではないか。

**A** 接種券に同封しているお知らせなどで周知している。

うぐいすネットについて

**Q** 6年1月にシステムが刷新されたが、廃止された検索機能もある。視認性の向上だけでなく、更なる機能改善を期待したい。

**A** 今後、窓口やオンラインでのキャッシュレス決済の導入を予定している。新たに改善する機能については、コールセンターへいただいた意見に基づき、利用しやすいシステムとなるよう検討していく。

スピーキングテスト導入と英語偏重教育について問う



立憲民主党大田区議団  
小川 あずさ



スピーキングテストについて

**Q** アチーブメントテストの2年分の結果の考察は。

**A** イラストの内容を英語で伝える問いには課題があった。即興的に、日常を説明する力や考えを

伝える力を伸ばす必要がある。

**Q** 今後の英語教育に役立てるため、何を実施しているのか。

**A** 英検3級の取得率が向上している。6年度からは、中学校のALTの配置数を拡充する。

**Q** 英語偏重の流れの中、他科目への影響などが出ているのか。

**A** 学習指導要領に示されている各教科などの標準授業時数に基づいて授業を実施する。5年度の全国学力・学習状況調査の結果では、全教科が全国の平均正答率を上回る結果となっており、マイナスの影響はないと考えられる。

災害時の要配慮者支援と大田区基本構想の振り返りを！



日本維新の会大田区議団  
宮崎 かずま



災害時の要配慮者支援について

**Q** 災害時の要配慮者への支援体制について、現状を伺う。

**A** 支援体制マニュアルを整備。更に避難所を運営する関係者と顔の見える関係を構築していく。

**Q** 区内91か所の避難所は、女性が運営に参画できているか。

**A** 区内91か所全ての避難所で女性が参画している。今後も様々な防災活動に取り組んでいく。

大田区基本構想の振り返りについて

**Q** 15年前に策定された基本構想の実現度・評価点・反省点を伺う。その反省を今後いかすべき。

**A** 地域力と国際都市が大きな強みに。待機児童ゼロなども達成。一方、23区内で0から4歳児の転出超過数が最多である点は反省点。そこで、新基本構想では「こども」を一丁目一番地に。今後は構想実現

をけん引する重要業績評価指標（KPI）を適切かつ実効的に設定する。

子育て世帯に選ばれるまちに向けて



東京政策フォーラム  
(都民ファースト・国民民主・無所属の会)  
清水 ちこ



**Q** 病児・病後児保育施設の認知を広める動画が有用では。

**A** 動画の作成は考えていないが、他区を参考に本事業の認知度向上と理解の促進を図っていく。

**Q** 病児・病後児保育のネット予約の必要性に関する見解は。

**A** 既に導入している施設、未導入の施設それぞれの事情や意向を考慮した慎重な判断が不可欠なため、引き続き調査・研究していく。

**Q** 病児保育送迎事業の利用実績がなく広報の見直しが必要。

**A** 保育園長会での説明とともに広く周知を図ってきた。今後はSNSなどの媒体も活用し、制度の浸透と理解を促進していく。

**Q** 区のホームページにベビーベッドや授乳室一覧の掲載を。

**A** 現在、都の「赤ちゃん・ふらっと」に63の区立施設を登録している。区のホームページで網羅的に確認する機能を備えていないことが課題と捉えている。

大田区議会 会議録のご案内

大田区議会の会議録は大田区立図書館、区政情報コーナー(区役所本庁舎2階)のほか、大田区議会ホームページでご覧いただけます。



過去の  
会議録はこちら



直近の  
会議録はこちら



## 予算審査の進め方

# 予算が決まるまで

当初予算の成立、執行までの流れをご説明します。

大田区議会は、定例会を年4回開催することが条例で定められています。

区の当初予算については、第1回定例会の中で審査し、議決します。



佐藤 伸  
副委員長

高瀬 三徳  
委員長

岡元 由美  
副委員長

## 1 議案（予算案）提出

2月7日

区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案（議会で決める案件）として提出されます。

当初予算案の概要は、大田区のホームページなどで公表されています。



## 2 委員会付託

2月26日

議会に提出された議案の多くは委員会に送られ、委員会で専門的に審査します。

これを「委員会に付託する」といいます。提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。



## 3 予算特別委員会

2月26日～3月25日

予算審査のために特別に設置される委員会です。予算案を詳しく審査し、討論・採決を行います。



## 4 委員長報告

3月25日

委員会で審査した付託議案（予算案）の審査結果を、委員長が本会議で報告します。



## 5 議決

3月25日

予算案は本会議で討論した後、議決（賛否のどちらかに議会の意思を決定）します。予算案を可決すると、区の「当初予算」の成立となります。



## 6 予算成立・執行

成立：3月25日 執行：4月1日から

予算が成立すると、4月から執行が可能になります。

なお、年度途中で変更が必要になった場合は、「補正予算案」が生まれ、議案として付託委員会で審査、本会議で議決します。



# 令和6年度予算の概要

## 一般会計総額 3,412億998万1千円

新しいおおたの次代への架け橋となる予算～SDGs未来都市としての挑戦～

令和6年度予算は、区民に身近な基礎自治体として、地域特性を踏まえた施策の構築に向け、以下の重点ポイントを掲げ編成されました。

### 1 出産・子育て、教育の 充実に向けた施策

主な事業予算 230億7,397万7千円



### 2 安全・安心で包摂的な 共生社会の実現に向けた施策

主な事業予算 127億701万8千円



大森北四丁目複合施設イメージ

### 3 環境と地域経済がともに発展する 未来へ繋ぐ都市力を高める施策

主な事業予算 43億1,110万8千円



### 4 ポストコロナ時代に健康で活力、 豊かさを高める施策

主な事業予算 8億8,900万円





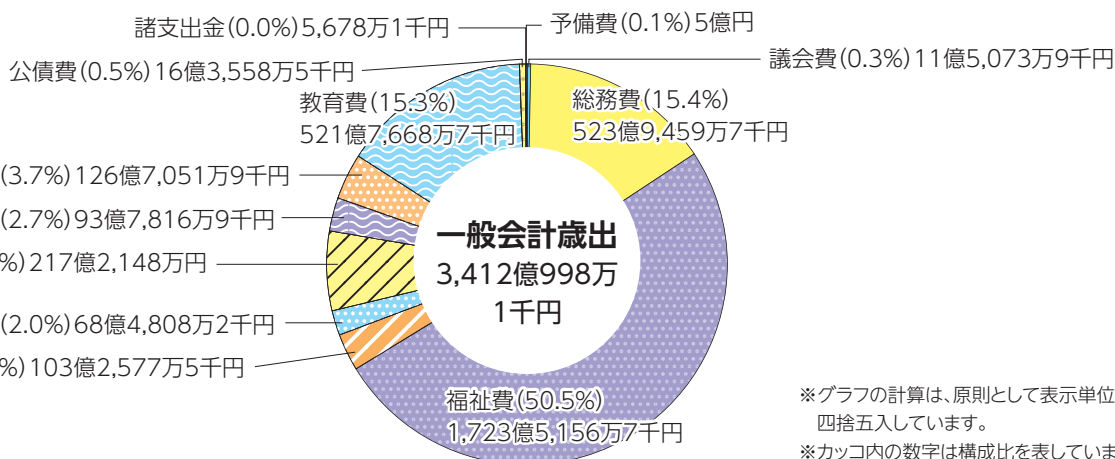
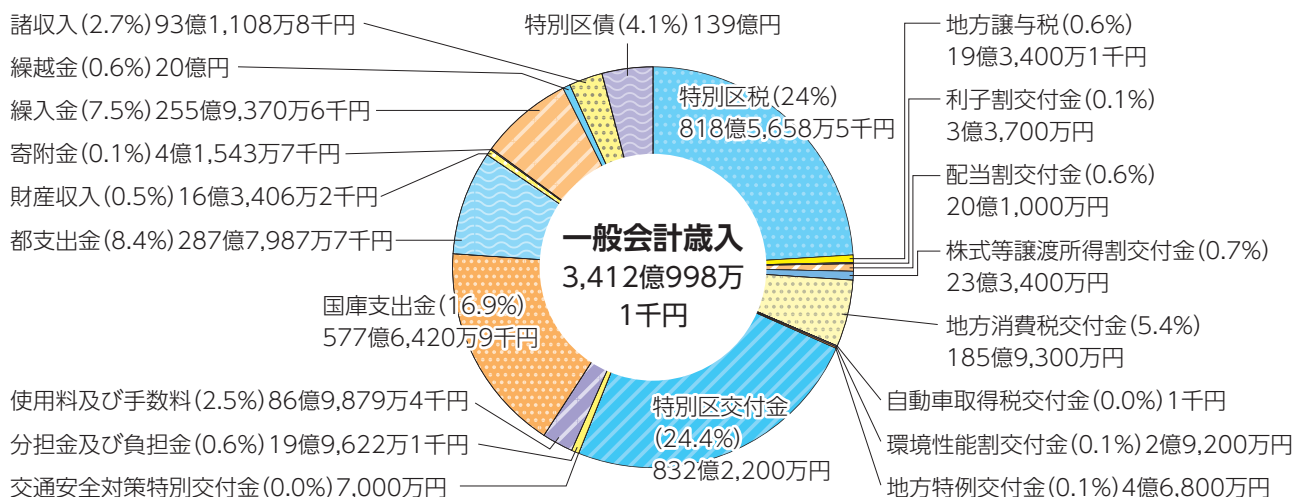
# 令和6年度予算の財政規模（会計別前年度比）

## 一般会計

**3,412億998万1千円**  
(8.4%増)

## 特別会計

- 国民健康保険事業 675億549万円 (1.4%減)
- 後期高齢者医療 206億368万2千円 (6.6%増)
- 介護保険 612億9,887万4千円 (4.1%増)



## 大田区の予算を1万円にたとえると、そのつかいみちは…

- 高齢者や障がい者の福祉、保育園・児童館の運営など **福祉費** …… 5,051円
- 防災対策や区役所・出張所の運営など **総務費** …… 1,535円
- 小・中学校、教育関係の経費など **教育費** …… 1,529円
- 道路、公園の整備など **土木費** …… 636円
- 清掃事業など **環境清掃費** …… 371円
- 保健所の運営など **衛生費** …… 303円
- まちづくり事業など **都市整備費** …… 275円
- 産業振興など **産業経済費** …… 201円
- 区債の償還など **公債費** …… 48円
- 区議会の運営 **議会費** …… 34円
- 予備費 …… 15円
- 諸支出金 …… 2円

令和6年度

# 予算特別委員会での主な質疑

自由民主党  
大田区議団・  
無所属の会

## 新たな基本構想の実現に向けた基本計画の策定について

**Q** 新たな大田区基本構想で掲げた将来像の実現に向け、基本計画の策定にどのように取り組んでいくのか、区の見解を伺う。

**A** 基本計画懇談会を設置し、多角的な視点から新たな基本計画の策定に向けた検討を進めていく。懇談会では基本目標ごとに専門部会を設置し、各分野において実施すべき政策や強化すべき施策などについて議論を重ねる。施策を着実に推進するとともに、進捗に関する評価・分析・見直しを行っていくため、計画策定時に客観的証拠に基づく適切な目標値を設定し、基本構想の実現に向けた確かな羅針盤となりうる基本計画を策定していく。

## 新空港線を契機に魅力的で利便性の高い蒲田のまちに！

**Q** 新空港線の整備は、駅舎・駅ビルを含む駅周辺のまちの機能更新をする千載一遇のチャンスである。東口駅前の地下駐輪場から自転車で蒲田駅の東西を行き来できる動線や、東口南方面を結ぶ通路などを確保できると良い。現在の区の実現状況を伺う。

**A** JR・東急蒲田駅周辺基盤施設の再整備においては、乗換えや、駅からまち、まちから駅への移動が快適に行える環境を整備していくことが重要である。検討に当たっては、自転車の流動についても考慮していく。自転車の利便性も高まるようなまちづくりを、波及・拡大していく。

大田区議会  
公明党

日本共産党  
大田区議団

## 保育士の定着支援になっている保育士応援手当の継続を

**Q** 保育士応援手当の縮小・削減について、国のこども未来戦略では量の拡大から質の向上へ政策の重点を移すことが必要とされたことを踏まえ、区では量の確保から質の向上に資する保育士の定着支援に重点を移し、見直しを行うとのことだったが、区のいう質の改善に逆行するのでは。定着には保育士応援手当の継続が必要である。補正予算を組んでも復活すべき。

**A** 待機児童を解消した。当面は多数の保育士を新たに確保する必要はない状況である。各種補助金は、本来の目的が果たされた時点でその役割を終えるものである。現在の制度を変更することなく継続する考えはない。



## 日本維新の会 大田区議団

### 能登半島地震の教訓から、更なる防災強化を！

**Q** 能登半島地震を経て、備蓄の大切さが再認識された。加えて、発災直後は輸送手段の確保が困難であり、備蓄品や支援物資が十分整っていても、物資を届けることができない状況に陥る。区の備蓄の現状、発災直後の備蓄品や支援物資などの輸送手段の供給体制について、見解を伺う。

**A** 震災を経て簡易トイレの重要性が再確認され、備蓄の追加配備を実施。また、輸送手段においては平和島に所在する物流業者保有の施設に拠点を設置し、災害時物流の課題を飛躍的に改善。区の地域的特性を生かし、陸上輸送、航空輸送、水上輸送と強じんな物流体制を構築していく。

### 区立小学校教員による児童へのパワハラ放置について

**Q** 小学校の担任が児童にパワハラを行い3年間で11名が精神的苦痛を受け2名は拒食症などで不登校になった。なぜ、ここまで放置したのか。児童がリストカットまで決意し、教育委員会電話相談に電話したのにこれも放置したのはなぜか。どんな思いで児童が電話したのか考えたか。教育長として教育委員会、学校が児童を放置し助けられなかったことをどう考えるか。

**A** この教員は当初より保護者から管理職に相談があり、教員に指導はしていた。校長より「済んだ案件」との報告があり、対応を学校に任せた。教育長として、教員の問題でこのようなことがないように全力で取り組む。

## つばさ 大田区議団

## 東京政策フォーラム (都民ファースト・ 国民民主・ 無所属の会)

### 事務事業評価の公開で情報公開された身近な大田区を

**Q** 予算や人員の配置、事業の継続や廃止に必要なのは客観的な事業の評価であり、それを外部に公開し、運用していくことが今後の財政の健全な運営に必要不可欠である。事務事業評価の公開について区の意見を伺う。

**A** 評価の結果を公表することは、透明性や事業の質の向上につながるという点から意義があると考えている。基本計画を推進するに当たっては、計画策定の段階から、評価の仕組みを計画の中に組み込んでいく必要があるため、施策と事業それぞれの評価について、実効性のある手法を構築していく。評価の結果については、区民に知らせたいと考えている。

### 児童相談所設置の区立から都立への方針転換について

**Q** 開設準備中の(仮称)大田区子ども家庭総合支援センターを構成する児童相談所の設置を、区立ではなく都立で行うことに方針転換した。先行区の例から、一時保護した児童の退所後も含めた細かな対応など、区立のメリットも大きい中、どのような点で都立の児童相談所を選択したのか。

**A** 区は検討を重ねてきた考え方を尊重し、協議を進めることを都と共有している。都立児童相談所と区立子ども家庭支援センターの執務室を同一階に整備し、相談は都区双方で一元的に受理する考えである。また、互いの知見を共有する合同研修などの開催や、関係機関訪問なども一緒に行う。

## 立憲民主党 大田区議団

令和6年度

# 予算に対する各会派の意見

大田区一般会計予算及び国民健康保険事業・後期高齢者医療・  
介護保険の各特別会計予算について

自由民主党  
大田区議団・  
無所属の会

賛成



## 防災力向上、安心安全の充実、子育て教育予算増を支持

6年度予算に関する全ての議案に賛成します。出産・子育て、教育の充実。災害に強く、区民が安心安全に住み続けられ、豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまちの実現。スポーツ・文化・歴史・自然に触れ、住む人も訪れる人も健やかで豊かさを感じるまちづくりなど、我が会派が要望してきた重点項目が反映された予算編成となりました。予算総額は一般会計で3,412億円余と、過去最大規模。特に、**こども関連経費は前年度比12.4%増、予算全体の3割超**となり、未来を創り出すこどもを、夢と希望をもって健やかに育むという区長の想いと、未来への投資を行う姿勢を高く評価します。

## 基本構想の実現へ スピード感のある区政運営を

6年度一般会計予算は様々な課題に対し、区民ニーズに応え、新しい挑戦をする予算編成であり、特にこども関連予算は全体の3割超となり、子育て・教育支援への姿勢を評価します。また、**新規事業・レベルアップ事業には産後ケア拡充、不登校対策、防災、老いじたくの推進など、大田区議会公明党の要望の数々が反映されており**ます。大田区議会公明党は、地域課題を注視し、区民生活向上のための政策実現に取り組んでおり、この度の予算特別委員会の審査でも、数々の提案、要望を行ってまいりました。**スピード感を持って、実現に向けて取り組んでいただくことを要望いたします。**

大田区議会  
公明党

賛成



日本共産党  
大田区議団

反対



## 新空港線は中止し物価高騰から区民生活を守る予算に！

2024年度予算は区立小・中学校の学校給食費無償化の継続、出産・子育て応援事業、高齢者インフルエンザワクチン接種事業の拡充など、区民の声に応え、評価する事業もありますが、**円安や物価高騰で苦しむ区民への対策、能登半島地震で必要性が増した防災対策への予算は不十分、88歳の寿祝金の廃止、保育士応援手当など大切な事業を削減しました。更に、一層の民間委託、新空港線の開発に10億円を積み立てることは問題です。党区議団は不要不急の新空港線開発関連予算などを削減する予算組み替えの提案をしましたが否決されました。また、各特別会計は区民への負担増であり反対しました。**



## 日本維新の会 大田区議団

賛成

### 持続可能な自治体運営のために、徹底的な行財政改革を！

子育て支援の拡充が推進され高く評価する一方、当会派からも様々な提案、要望を行いました。防災対策として能登半島地震の教訓から備蓄、物資の輸送手段の強化を。子育て支援の観点から、保護者の負担軽減の推進、習い事への助成を。SDGsの観点から、ブルーカーボンプロジェクトの推進、SDGs達成を開催目標とする大阪・関西万博をこどもたちの学びの場としての活用を。地域経済発展のため、羽田空港にプリクリアランス導入などを提案。また今後も厳しい財政運営が想定されるゆえ、徹底的な行財政改革を断行し、増税や借金に頼らない持続可能な自治体運営を要望します。

### 新区長の積極予算に賛成！ 選ばれる街を目指せ！

本予算は、鈴木晶雅大田区長が初めて手掛けられた記念すべき予算であります。つばさ大田区議団（19期 令和大田区議団）が要望してきた新施策が多数あり、以前よりも区民の生命財産を災害や犯罪から守り切ろうとする積極的な姿勢に対し、評価をするところです。また、過去最高予算額と全体の半分を占める福祉関連予算から区長の掲げる「笑顔とあたたかさあふれる大田区政」に向けた意気込みが感じ取れます。是非ここは更に一步前進し、区内経済を活性化させる！大田区で起業したい！稼ごたい！と思える環境を他隣接区とともに創出する一年になることを強く要望いたします。

## つばさ 大田区議団

賛成

## 東京政策フォーラム (都民ファースト・ 国民民主・ 無所属の会)

賛成

### 将来の大田区に向けた積極的な施策の展開を

鈴木晶雅区長が就任されて初めての本格的な予算編成となった6年度予算は、実質収支がほぼ同じであり、基金の取崩しなどが行わなければ収支がマイナスになってしまう状況で策定されました。その中で、子育て施策などに多くの予算を割り振り、鈴木区長の掲げる「子育て世帯に選ばれるまち」「稼げるまち」に向かって積極的な姿勢を見せたことを高く評価します。今後の大田区が人口減、少子高齢化に突入していく中で情報公開などを積極的に行いながら区民の生活を支え、基本構想で描いた大田区の将来の形を実現するための施策を展開していくことを求めます。

### 笑顔あふれる予算への期待と新空港線に対する懸念

立憲民主党大田区議団は鈴木新区長のもと策定された予算について、様々な区民参画手法により、こども・若者の意見も取り入れた新たな大田区基本構想に沿った予算となっており、子育て世代やこどもたちの学びの重点的な支援、区民の安心・安全を守り、物価高の中での区内産業に対する支援やポストコロナ時代の生活や暮らしを守る取組を評価いたします。一方、新空港線（蒲蒲線）については、多くの区民から寄せられている利便性や採算性などの不安について、十分に説明ができていない状況とはいえ、区民への正確な説明が必要であると考えています。

## 立憲民主党 大田区議団

賛成

# 第1回定例会 議決結果

○:賛成 ×:反対 欠:欠席

今定例会で審議された議案などの結果は以下のとおりです。

		自	公	共	維	つ	フォ	立	フェ	れ	結果
令和6年度 予算	一般会計	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	国民健康保険事業特別会計	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	介護保険特別会計	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
令和5年度 補正予算	一般会計(第5次)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	一般会計(第6次)	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	国民健康保険事業特別会計(第2次)	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	後期高齢者医療特別会計(第2次)	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	介護保険特別会計(第2次)	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
条例の制定	大田区基本計画懇談会条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区立水泳場条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田文化の森条例の施設の一部の供用停止に関する条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区シティプロモーション戦略推進会議条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
条例の一部 改正	大田区職員定数条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区手数料条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
	大田区積立基金条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区中小企業者賃貸住宅条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区奨学金条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区老人いこいの家条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区立シルバーピア条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区高齢者アパート条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区立軽費老人ホーム条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区障害者総合支援条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立障害者福祉施設条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立心身障害児通所施設条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立志茂田福祉センター条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立上池台障害者福祉会館条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立障がい者総合サポートセンター条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立従前居住者用賃貸住宅条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区私道整備助成条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区私道排水設備助成条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区営住宅条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区民住宅条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区公衆便所の設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区船着場条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区立公園条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区立大森ふるさとの浜辺公園条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決



		自	公	共	維	つ	フォ	立	フェ	れ	結果
条例の一部改正	大田区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区介護保険条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区国民健康保険条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
	大田区特別区税条例	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
条例の廃止	大田区産業連携支援施設条例	○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
契約の締結	仮称大田区南馬込四丁目資料館大規模改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田文化の森ホール棟特定天井改修及び大規模改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立入新井第四小学校外壁改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田文化の森ホール棟特定天井改修及び大規模改修機械設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立入新井第二小学校校舎（棟番号①-3ほか）取壊し工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
	大田区立矢口西小学校校舎（棟番号①-1ほか）取壊し工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
契約の変更	大田区民プラザ特定天井改修その他電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	可決
和解	情報システムサービスの障害の発生に伴う損害賠償	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
協議	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	同意
大田区基本構想		○	○	×	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	×	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦	上松 由紀子	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	樋渡 俊一	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	齊藤 與志夫	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	鈴木 英明	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	岩崎 数弘	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	加藤 孝夫	○	○	○	○	○	○	○ <sup>3</sup> 欠 <sup>1</sup>	○	○	答申※
	議員提出議案	大田区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例	×	×	○	×	×	×	×	×	○
大田区立小・中学校給食費補助金交付条例		×	×	○	×	×	×	×	×	○	否決
パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現に関する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※異議がないものと答申することに決定しました。

## 報告

- 区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分
- 貳之橋架替工事請負契約の専決処分
- 大田区民プラザ特定天井改修その他工事請負契約の専決処分
- 仮称大田区田園調布せせらぎ公園体育施設新築その他工事請負契約の専決処分
- 大田区立京浜島三丁目資材倉庫増築その他工事請負契約の専決処分
- 大田区稲谷・羽田地域庁舎外壁改修その他工事請負契約の専決処分
- 大田区立石川町文化センター大規模改修工事請負契約の専決処分
- 大田区民プラザ特定天井改修その他機械設備工事請負契約の専決処分
- 大田区民プラザ舞台照明設備改修工事請負契約の専決処分
- 大田区民プラザ舞台機構改修工事請負契約の専決処分

### 会派名 (所属議員数)

- 自** … 自由民主党大田区議団・無所属の会(15)
- 公** … 大田区議会公明党(11)
- 共** … 日本共産党大田区議団(5)
- 維** … 日本維新の会大田区議団(5)
- つ** … つばさ大田区議団(4)
- フォ** … 東京政策フォーラム(都民ファースト・国民民主・無所属の会)(4)
- 立** … 立憲民主党大田区議団(4)
- フェ** … フェアな民主主義(1)
- れ** … OTAれいわ新選組(1)

※詳細は、大田区議会ホームページをご覧ください。



## 第1回定例会 委員会付託された請願・陳情の結果



今定例会で委員会付託された請願・陳情の結果は以下のとおりです。

		審査結果
総務財政委員会	対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情	不採択
	区長等の退職金に関する陳情	不採択
まちづくり環境委員会	京急平和島駅前に公衆トイレの再設置をお願いする陳情	継続
	西六郷一丁目24番地分譲住宅13戸のみどりの確保に関する陳情	不採択
こども文教委員会	保育士応援手当に関する陳情	不採択
	『保育士応援手当の見直し』に関する陳情	不採択
	保育士応援手当に関する陳情	不採択
	保育士応援手当に関する陳情	不採択
	大田区保育士応援手当補助金の内容を改定せずに継続を願う陳情	不採択
	大田区保育士応援手当補助金における内容改定案の再検討を願う陳情	不採択
	すべての子どもたちがすこやかに育つ大田区をめざすための請願	不採択
議会運営委員会	区議会議員の不祥事発生時の議員報酬支払に関する陳情	継続
交通政策調査特別委員会	新空港線三セク会社の鉄道認可申請に係る事業計画の区議会と区民への説明を求める陳情	継続
	新空港線予定地における地震の際の液状化にどのように備えるか示してほしい陳情	継続
羽田空港対策特別委員会	重大事故の危険をはらむ羽田空港の増便による過密化の解消を国に願う陳情	不採択
	大田区基本構想をの実のあるものにしていくために都心ルート廃止を国に求めてほしい陳情	不採択
	横田空域返還が首都東京の飛行ルートに及ぼす影響を明らかにしてほしいと願う陳情	不採択
	羽田空港増便・新ルートの抜本見直しを大田区から国に求める陳情	不採択
防災安全対策特別委員会	感震ブレーカー支給の改善を求める陳情	不採択

## 令和5年度一般会計補正予算（第5次）を可決

令和5年度一般会計第5次補正予算は、以下の視点を踏まえて計上されました。

### ●国の総合経済対策に速やかに対応するための予算

今回の補正予算の規模は、12億8,922万9千円の増額となりました。

計上された事業は、以下のとおりです。

### 一般会計第5次補正予算の事業



#### 福祉費

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 12億8,922万9千円  
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業に係る経費

## 令和5年度一般会計補正予算（第6次）を可決

令和5年度一般会計第6次補正予算は、以下の視点を踏まえて計上されました。

### ●第5次補正予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応するための予算

### ●不用額精査や執行努力、一般財源の伸びにより生まれた財源を活用し、財政の持続可能性を確保するための予算

今回の補正予算の規模は、25億4,152万8千円の減額となりました。

計上された主な事業は、以下のとおりです。

### 一般会計第6次補正予算の主な事業

#### 福祉費

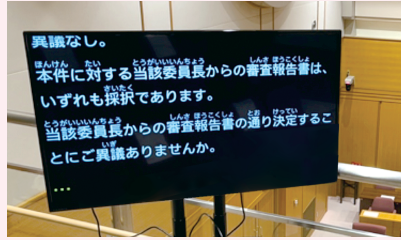
- 保育園入所者運営費 9億4,561万5千円  
性被害防止対策に係る設備等支援事業及び執行見込による増



## 音声認識文字変換ツール(UDトーク)の紹介

大田区議会では、全ての方に安心して議会を傍聴していただけるよう手話通訳者の配置、FM受信機(ヘッドホンタイプ)の貸し出しを行っておりますが、より一層傍聴しやすい環境を整備するため、音声認識文字変換ツールを導入しています。

本会議及び予算・決算特別委員会での発言内容をUDトークを介して文字化し、傍聴席に設置した液晶モニターにリアルタイムで表示します。



## 議会ライブ配信のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子をYouTube大田区議会チャンネルでライブ配信しています。

詳細は、大田区議会のホームページをご確認ください。

議会中継に関する情報はコチラ



## 請願・陳情はどなたでも出せます

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 大田区議会では、原則として請願と陳情の審査は同じ扱いです。
- 3 請願・陳情の内容が数種類に及ぶ場合は、各々別の請願・陳情に分けてください。
- 4 請願・陳情の件名は、40文字以内になしてください。
- 5 請願・陳情書を提出する際は、提出者の署名または記名押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 6 署名簿がある場合は、請願・陳情の趣旨に賛同していることが分かる様式としてください。

### ●提出方法

受付は、土曜・日曜、祝日及び年末年始を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局の窓口で行っています。

### ●請願・陳情書の書き方

邦文の楷書で、以下の内容を記載してください。

- (1) 提出年月日
- (2) 宛先(大田区議会議長)
- (3) 請願・陳情者の住所、氏名、連絡先(氏名は「署名または記名押印(シャチハタなどのスタンプ印は不可)」)
- (4) 件名(40字以内)
- (5) 請願・陳情の趣旨及び理由(簡潔な文章で)

### ●陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- ① 著しく個人、団体などをひぼう、中傷をし、その個人、団体などの名誉毀損、信用失墜のおそれがあると判断したもの
- ② 脅迫、恐喝など、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- ③ 郵送されたもの
- ④ 住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- ⑤ 同一期でおおむね一年を経過していない同趣旨のもので、状況の変化がないと認められるもの
- ⑥ マンション紛争など、私人間で解決すべき内容を含むもの
- ⑦ 既に願意が達成されていると思われるもの
- ⑧ その他議会の審査になじまないと議長が判断したもの

**請願・陳情書(記載例)**

年 月 日

大田区議会議長あて

請願者(陳情者) 押印は、シャチハタなどのスタンプ印は不可

住所

氏名 ◇◇ ◇◇  
(署名又は記名押印)

電話番号

紹介議員(陳情には不要)  
□□ □□  
(署名又は記名押印)

○○○○に関する請願(又は陳情)

請願(陳情)の趣旨

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

理由 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

件名の字数は40字以内

陳情の場合は、紹介議員は不要

## 大連市訪問団が大田区議会を表敬訪問

令和5年12月20日、大田区と友好協力関係都市である中国大連市から、冷雪峰大連市副市長を団長とする7名の訪問団が大田区議会を表敬訪問し、押見隆太議長をはじめとする大田区議会議員が歓迎いたしました。

押見議長は、大田区議会親善訪問団が大連市を訪問した際に手厚く歓迎いただいたことに対するお礼の言葉を述べ、冷副市長からは、大連市の現状についてお話しいただき、交流を深める一時となりました。



大田区議会議場にて

## 宮城県東松島市議会を親善訪問

**訪問都市** 宮城県東松島市

**日程(1)** 令和5年12月21日(木)から12月22日(金)まで

**訪問議員** 湯本良太郎、押見隆太、高山雄一、中坪悦子、天坂大介、柿島耕平、岡元由美、秋成おさむ、鈴木ゆみ、あまの雄太、佐藤伸、村石真依子、三沢清太郎、本多たかまさ、鈴木ひろこ、杉山かずのり、宮崎かずま、犬伏秀一、伊藤つばさ、おぎの稔、寺下なおみ、津田智紀、庄嶋孝広、寺田かずとも

**日程(2)** 令和5年12月21日(木)

**訪問議員** 清水ちこ、とく山れいこ

議長、副議長をはじめ、自民・無所属、公明、共産、維新、つばさ、フォーラム、立憲、れ新の8会派、26名で、宮城県東松島市及び東松島市議会を訪問しました。大田区は東松島市と友好都市提携及び防災協定を締結しており、訪問当日は、渥美巖市長、小野恵草議長をはじめ、多くの議員の皆様から温かい歓迎を受けました。

東松島市と大田区の議会意見交換会では、震災ゴミ

のリサイクル方法「東松島方式」や震災後の子育て世帯へのサポートなどについて情報共有いただきました。また、交流会での温かいおもてなしにより、更に親交が深まりました。翌日には、防災拠点備蓄基地及び備蓄倉庫、震災復興伝承館、宮野森小学校を視察しました。

今後も更なる交流を深めていくことを東松島市及び東松島市議会と確認しました。



東松島市議会議場にて



## 能登半島地震被災者支援のための募金活動を行いました

能登半島地震において被災された方々を支援するため、令和6年1月17日に蒲田駅東口駅前広場において、超党派の議員による街頭募金活動を行いました。

議員が募金箱を持ち、並んで呼び掛けを行ったところ、非常に多くの方々に足を止めていただきました。

皆様からお寄せいただいた募金と議員から募った分を合わせた、53万1,707円を義援金として被災地の復興に活用できるよう、大田区議会を代表して押見隆太議長と秋成おさむ副議長が、1月19日に石川県東京事務所へ直接お届けしました。石川県東京事務所の中谷所長からは、「皆様の温かいお心遣いをしっかりと受け取り、現地へ責任を持ってお届けいたします。」とのお言葉をいただきました。

この度の募金活動にご協力いただきました皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。

大田区議会では、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にお心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にお心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願っております。



能登半島地震街頭募金活動(蒲田駅東口駅前広場にて)



石川県東京事務所にて

左から、秋成おさむ副議長、押見隆太議長、石川県東京事務所 中谷所長

## 議員研修会を開催

大田区議会では、区が抱える課題について知識や対応策の理解を深めるため、各分野の専門家を招き、毎年全議員を対象とした研修会を開催しています。令和5年度の実施内容などは次のとおりです。

**開催日** 令和5年9月22日(金)

**テーマ** 初等中等教育段階における情報教育のあり方と生成AIの利用について

**講師** 利根川 裕太 氏(特定非営利活動法人みんなのコード 代表理事)

近年、学校においてはICT化が急速に進み、区立の小・中学校でもタブレット型端末が一人1台配備されています。また、チャットGPTに代表される生成AIなどの新しい技術は、行政においても様々な場面で利活用が進められています。このような情報技術の進展が行政や教育に与える影響などについて、理解を

深めていく必要があります。

講師に利根川裕太氏をお招きし、学校現場におけるプログラミング教育の実態と課題、AIとの付き合い方などについてご講話いただくとともに、講師が用意した環境で議員一人ひとりが実際に生成AIを利用し、理解を深めました。



研修会の様子

**開催日** 令和6年3月1日(金)

**テーマ** 脱炭素社会構築に向けた水素の活用

**講師** 柏木 孝夫 氏(東京工業大学名誉教授)

我が国は、世界に先駆けて水素基本戦略を策定し、世界各国もこれに続きました。SDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業にダブル選定された大田区は、脱炭素社会の実現に向けて今後どのような取組ができるのか、議会として理解を深める必要があります。

講師に柏木孝夫氏をお招きし、2月13日に閣議決定

された水素社会推進法案や、その背景となる脱炭素に向けた世界的な潮流、燃料電池車や家庭用燃料電池などを世界に先駆けて製品化した水素分野における日本の技術的優位性などについてご講話いただきました。



研修会の様子

## パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現に関する決議（抜粋）

パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現のため、以下のとおり決議しました。

大田区議会は、全ての当事者及び国際社会が国際法を遵守するとともに、即時停戦、人質の解放及び人道支援の確保により、ガザ地区における平和が早期に実現されるよう強く求める。

※本決議の全文は、ホームページに掲載しています。



## 区議会だよりをリニューアルしました！

今回の令和6年第1回定例会号から、紙面を大幅にリニューアルしました。リニューアルに当たっての主な改善点は以下のとおりです。

- 紙面のサイズをA4に
- 全ページをフルカラーに
- 幅広い世代の方に興味を持ってもらえるよう、レイアウトを変更
- 図や写真などの活用
- 分かりにくい用語の説明を追加



リニューアル前(左)と  
リニューアル後(右)



おおた区議会だより編集委員会での議論の様子

今後も、区議会だよりを通じて、区議会の活動を広く皆様にお届けし、議会に対する理解と信頼を高められるよう、検討を重ねてまいります。

### リニューアルに当たって、押見隆太編集委員会委員長からのご挨拶です。

おおた区議会だよりをお読みいただきましてありがとうございます。

リニューアルに当たり、サイズはA4へ、全面フルカラーとし、手に取りやすく、読みやすい紙面となるように意識して作成しました。

検討に当たっては区議会議員で構成する、おおた区議会だより編集委員会の、秋成おさむ副委員長、中坪悦子、小峰よしえ、清水菊美、杉山かずのり、伊藤つばさ、おぎの稔、平野春望の各委員が中心となり、幾度にも及ぶ編集会議を経て、今回の紙面となりました。

大田区議会では、ほかにYouTubeでの議会ライブ配信を始めたところですが、区民の皆さまにとって身近で親しみやすい議会となるよう、引き続き、改革に取り組んでまいります。

おおた区議会だより編集委員会 委員長 押見隆太

### おおた区議会だよりへのご意見をお聞かせください。

今後の「おおた区議会だより」の発行に当たり、皆様のご意見を参考にするため、アンケートを実施しています。

皆様からいただいたご意見については、今後の紙面に役立てていきます。

スマートフォンなどから、右のURLまたは二次元コードにアクセスし、回答をお願いいたします。

ご意見お待ちしております。  
3分程度で回答できます！

アンケート期限：  
令和6年6月19日(水)まで

[https://logoform.jp/  
form/8BrJ/525920](https://logoform.jp/form/8BrJ/525920)



No.260 令和6年5月5日 おおた区議会だより 令和6年 第1回 定例会号

発行:大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号 ☎03-5744-1474(直通) FAX:03-5744-1541

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

大田区議会

